

## 障がい者雇用のために利用できる助成金制度のご案内

### トライアル雇用助成金(障害者トライアルコース、障害者短時間トライアルコース)

ハローワーク等の紹介により、一定期間試用雇用する場合に助成金を支給します。

問合せ先 大分労働局 大分助成金センター TEL.097-535-2100



### 特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者コース、発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース)

ハローワーク等の紹介により、継続して雇用する労働者(雇用保険の一般被保険者)として雇い入れた場合に助成金を支給します。

問合せ先 大分労働局 大分助成金センター TEL.097-535-2100



### その他 雇用環境整備のための助成金

事業主が障がい者の雇用にあたって、施設・設備の整備や雇用管理のための特別な措置を行わなければ、新規雇入れや雇用継続が困難と認められる場合に助成金を支給します。

- 障害者作業施設設置等助成金
- 障害者介助等助成金
- 職場適応援助者助成金
- 重度障害者等通勤対策助成金 など

問合せ先 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 大分支部 高齢・障害者業務課 TEL.097-522-7255



※支給条件や支給額など詳細は、それぞれの窓口へお問合せください。

## 大分県の障がい者雇用支援制度

### 障がい者雇用アドバイザー

事業主と就職希望者のマッチングや就職後の職場定着に関する支援を行います。

問合せ先 障害者就業・生活支援センター(裏面参照)



### 障がい者職業訓練コーディネーター、コーチ

事業主と訓練希望者のマッチングや訓練及び訓練後の就職に向けた調整を行います。

問合せ先 高等技術専門学校(裏面参照)



### 特別支援学校ジョブコンダクター

特別支援学校の一般就労の困難事例に関する支援を行います。

問合せ先 特別支援学校(裏面参照)

### 障がい理解のための企業向け出前講座

ご要望に応じて、障がい理解のための講座を実施します。  
(例)合理的配慮への対応、コミュニケーションのとり方について等

問合せ先 オムロン太陽株式会社 TEL.0977-66-4447



### 障がい者雇入れ体験

短期間(最大10日間)の雇入れ体験を希望する事業主に対し、障がい者とのマッチング支援を行います。また、事業主には委託料として、3,000円/日を支給します。

問合せ先 障害者就業・生活支援センター(裏面参照)



## ともに働く! 就労系 福祉事業所 紹介

NPO法人 虹のかけはし 障がい福祉サービス事業所

### 大地 (就労継続支援A型事業所)

〒872-0651 宇佐市安心院町佐田122番地の2  
TEL.0978-44-2500



### 就労系福祉事業所とは?

就労系福祉事業所とは、障がいのある方に対して、生産活動の提供や就労に必要な訓練・支援などを行う通所型の福祉施設です。

#### 就労移行支援事業所

一定期間内(標準2年間)で、企業等で働くための訓練や就職支援などを行います。

#### 就労継続支援A型事業所

雇用契約を結んで生産活動の機会の提供を行い、就労に必要な訓練や支援を行います。

#### 就労継続支援B型事業所

雇用契約を結ばず軽作業などの生産活動の機会の提供を行い、就労に必要な訓練や支援を行います。

#### 就労定着支援事業所

就職後、職場定着できるよう社会生活や日常生活に関する相談、助言などを行います。

1.大地の職員。左から伊藤孝子さん、上野宗宜さん、石井悦子さん。  
2・3.今年で9年目を迎えるぶどう園での作業風景。仕事ぶりを見て、「自分たちと変わらないじゃないか」と、年間通してお世話を任せてもらえるようになったそう。園側からも「今まで管理の仕事に追われて他の作業ができなかったが、大地さんをお願いするようになって余裕ができた。本当に助かっている」と嬉しいお声をいただいています。

宇佐市にある就労継続支援A型事業所「大地」では、知的・精神・身体に障がいを持つ方が農作業(一部、自動車部品組立)を通して様々なスキルを磨きながら、自立やその先にある一般就労を目指しています。また、利用者が一般就労を希望した際のサポートや、就労後の定着支援も行っており、なかほつ(P9参照)をはじめとした関係機関と密に連携をとりながら障がい者・企業双方の課題解決に尽力しています。

管理者の上野さんが重きを置いているのが利用者との信頼関係の構築。「就労先の企業の方にもお話ししているのですが、何かあった時にきちんと話せる関係性を作っておくことが大切。結局、人としてどう接するか、の部分なんです。ただ、世代によっても考え方は違いますし、『すべき』にならないよう、できるだけ柔軟にいろんな意見に耳を傾けるようにしています」。サービス管理責任者の石井さんも「しっかり話を聞いて、どんなことでも一旦共感するようにしていま



す。利用者さんはどうしても自己肯定感が低い人が多いですから…。そうすることで前向きになれる人が多いんです。今年は、褒めて伸ばす『ほめ活』の内部分研修も行う予定です」と優しく言葉をつなぎます。常に利用者寄り添い、ベストな方法を模索するお二人。真摯な思いに込めるように、年間3名ほどが社会へ羽ばたいています。